

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年6月28日

評価対象事業		評価者	教育総務課担当課長 小澤 圭介		
教育-09	実施事業	社会教育運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	教育総務課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	学務課
総合計画上の位置付け	分野	生涯学習	施策の方針	多様な学習機会の提供と学習成果の活用	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	「生きがい」や「自己の実現」のみならず、地域社会の活性化や高齢者の社会参加の促進など、豊かな地域づくりを目指すため。
効果	「誰もが、いつでも、どこでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価される」ような生涯学習社会を構築する。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員会議を開催した。 ・市内在住・在学の小・中学生を対象にしたコンサート等を開催した。 ・教育文化施設建設の財源に充てるための基金を運用した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	各年3月31日(住民基本台帳)
	事業の対象者数	1,433人	1,152人	事業の対象者数			
運営資源状況	決算値(千円)	4,969	4,390	当初予算(千円)	5,694		
	国県支出金	153		国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他	1,245	852	その他	1,692		
	一般財源	3,571	3,538	一般財源	4,002		
	人員配置数	1.1	1.0	人員配置数	1.5		
	人件費(千円)	8,410	7,844	人件費(千円)	11,754		
事業経費運営	総事業費(千円)	13,379	12,234	総事業費(千円)	17,448		
	市民1人当りの経費(円)	76	69	市民1人当りの経費(円)	99		
	対象者1人当りの経費(円)	9,336	10,620	対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウんで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している 協働実施済の場合のパートナー 鎌倉シティプラス、鎌倉ジュニアオーケストラ、鎌倉美術連盟等

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	現在取り組んでいる事業は、市民のニーズも高く、毎年多くの参加者を集めているため、現状維持とする。

総評(評価に対する考え方、根拠等)	子ども関連の事業には、毎年多くの児童生徒及び保護者が参加している。「子どものためのウインターコンサート」は、定員を超える希望があるため、参加者を抽選で選び実施している。また、「かまくらこどもコンサート」は、平成30年度(2018年度)は芸術館小ホールが満席になるなど、人気が高い事業となっている。写生大会には、多くの親子が参加し、家庭教育の一環を担っている部分もある。市内を中心に活動する社会教育団体の育成面も含め、今後も、事業を継続することで、鎌倉の未来を担う子どもたちの成長を援助していきたいと考えている。
-------------------	---

平成30年度(2018年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	社会教育担当職員が少ない中、効率的な運営により、現存の事業を継続させていくとともに、より充実した学習機会が提供できるように努めていく。	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	夏休み子ども写生大会、子どものためのウインターコンサート、かまくらこどもコンサートの3つの事業において、事業の効率化を図るとともに、市民のニーズにあった学習機会の提供に努めた。また、平成28年度より実施している流鏝馬鑑賞については、これまでの社会教育事業の中で培ってきた人脈を活かし、学生ボランティアの協力を得て、実施している。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	平成29年(2017年)には、鎌倉芸術館の改修工事が入り、鎌倉女子大学松本講堂を使用させていただいた。松本講堂は、普段、一般貸し出しをしていない施設のため、今後、安定して事業を実施していくには、より広域的に公共施設が使用できる仕組みが必要ではないかと思われる。平成30年度(2018年度)には、鎌倉芸術館を使用することができた。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	3回の主催事業の参加人数 (子どものためのウインターコンサート、かまくらこどもコンサート、写生大会)					単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	平成28年度(2016年度)及び平成30年度(2018年度)は写生大会が中止のため、2事業の値。		
子どもに対するより多くの学びの機会の提供	目標値	750	750	750	750	750	750			
	実績値	755	995	765	987	749				
	達成率	100.7%	132.7%	102.0%	131.6%	99.9%				

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	予定している二つのコンサートは、会場の定員もあるため、実績値が大幅に増えることは考えられない。同程度に推移していくことが、事業の成果が得られていると考えられる。
-----------------------	--